

## キャリアコンサルティング技能検定2級 学科・論述・面接試験 合格体験記

2級受検番号 NO. 03S3510624 氏名 K.S (神奈川県在住)

<p><b>■2級技能士を目指したきっかけ</b></p> <p>国家資格キャリアコンサルタントに合格後2年ほどして、勤務先の中で社員のキャリア相談を受ける仕事に従事することになりました。この道のプロと言える自信を持ち、他者からも認められるには2級技能士の称号は必須だと考え、合格を目指そうと決意しました。</p>
<p><b>■当初の勉強法</b></p> <p>学科は独学で過去問を繰り返し行い、過去3年分は全ての選択肢のどこが正しくて、どこが誤っているかを調べてインプットしました。また、本試験で採用される時期の白書等の読み込みをしっかりと行いました。結果、初回受験で合格しました。</p> <p>論述・面接は、某団体の試験対策講座を受講しましたが、正直、これで対策になるのかがよくわからないまま本番を迎えました。結果、論述・面接ともに未達でした。</p>
<p><b>■合格のきっかけ</b></p> <p>4回目の受験に際して、何としても面接試験を突破したく、当会の「2級実技合格2日間集中講座」を受講しました。しかし、先生方の講義を受けても、1日目の午前中は、私の中で腹落ちするものが感じられませんでした。午後に自分の番のロープレを通して、この講座の特徴である「合格水準を体感することを経験して「合格するとはこういうことなんだ」と初めてスッキリすることができました。面接試験の練習において相談者の役づくりがとても重要であるということがわかりました。</p> <p>とはいえ、試験本番では方策を提案してもすんなりと合意に至るケースはまず無いことを経験していたため「20分の中で具体的展開に至らなくても合格する試験なのか」を先生方に確認しました。先生方はていねいに「口頭試問をしっかりと答えることで、ロープレで具体的展開に至らなくても合格できる。焦って進める必要はない」と説明してくださいました。これを信じて2日目の講座ではロープレと口頭試問にさらに集中して取り組んだことが合格につながったと思います。</p>
<p><b>■学科試験の勉強</b></p> <p>当初の勉強法に記載の通り、しっかりと調べてインプットを行い、過去問を徹底して繰り返し行いました。白書等の読み込みもしっかり行いました。</p>
<p><b>■論述試験対策</b></p> <p>当会の「2級実技試験合格バイブル」を2級技能士の友人に勧められて購入しました。バイブルに基づいて記載すべきポイントを捉え、試験時間の配分、記述スピード、文字の大きさなどを意識して過去問を繰り返し行いました。結果、2回目の受験で合格点に達する力が身に付きました。</p>
<p><b>■面接試験対策</b></p> <p>2回目の受験では、当会の「講師のスーパービジョン」を受けました。システムティックアプローチに基づき展開することが必須であることはわかりましたが、その他何をすれば自分が合格水準に到達するのかわかるにはスーパービジョンの時間が足りませんでした。結果、2回目も未達でした。</p> <p>3回目の受験では、某団体の面接対策講座を受講しましたが、小手先のテクニックに終始するところが強いもののように感じました。そのテクニックを使いましたが、結果、3回目も未達でした。</p>
<p><b>■受検される方へメッセージ</b></p> <p>私は4回目の受験で合格しました。3回目までの面接試験未達の時と比較して、終始ロープレを努めてゆっくり進めたことが大きなポイントだと感じています。具体的には、目標設定を拒否された際に、相談者が拒否しなくなった気持ちに受容・共感し、自己一致した表現に徹し、次の目標設定を提案しました。そして、結果的に時間内に合意に至らずとも慌てませんでした。口頭試問では、客観的な視点を意識してロープレに表れていたことのみを表現し、ロープレとの一貫性、継続性を保つことを意識して、この先の具体的展開をどのようにしていくかを表現しました。</p>